学校番号	3015

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新 探求 現代文Ｂ（桐原出版）						
副教材等	大学入試国語頻出問題 1200－四訂版－（いいずな書店） LT 現代文２　要約シート付（浜島書店） プレミアムカラー　国語便覧　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品を通して読解力と豊かな感性を身につけましょう。しかし、読むだけでは読解力は身につきません。どう考えれば自分が納得できるか、自分が納得できる読みを創造することが読解力の源泉です。頭を使い、心を動かして、読む力と読む面白さを身に付け経験していきましょう。
・ＳＮＳの普及により、文章力だけではなく語彙力も極端に低下しているのが現代の状況です。語彙力はそのまま国語力に直結します。漢字は書き取りだけでなく、文章の中で意味を押さえましょう。様々な文章に触れ、わからない語句があれば調べ、語彙力向上のため地道な努力をしましょう。また、知識はいろいろな分野が関わり合って初めて力となります。総合力を身につけるために、国語にこだわらずあらゆる教科や日常の出来事に好奇心をもって接しましょう。
・国語力は日々の継続と積み重ねが大事です。小テストの勉強や宿題も日々こなしていきましょう。

２　学習の到達目標

・読解力を養い、作品を通してものの見方、考え方を深め、人間性の形成に役立てる。
・物事の本質を理解する能力を養成すると共に、その表現能力も育成する。
・言語・文化に対する関心を深め、言葉を尊重して、自己に向き合う態度を養成する。
・補助的に新たな文章や副教材を活用し、読解技術や漢字の習得、語彙数の増加に努める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	多くの作品に触れることを通して、様々な文化や時代、人間の生き方に対する関心を養い、自己の人生を豊かに創造する態度と意欲を所有している。	目的や場に応じた態度を身につけ、相手の意見を聞き理解すると同時に自分の意図や考えを表現するコミュニケーション能力を有している。	相手や目的、意図に応じた文章の書き方や構成力を身に付けると同時に、書くことを通して自分の考えをまとめ、深めようとしている。	一語一語正確に読む基本姿勢を身に付け、それがやがて作者の文脈やモチーフを理解し、自己発見につながる創造性を所有している。	漢字の読み書きや慣用句、読解に必要な用語等、言葉に対する関心を持ち、語彙力の向上と言葉を使いこなす力を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察・記述の点検（学習活動への取り組み、定期考査）	行動の観察（グループワーク、ワークシート、発表）	記述の確認（ワークシート、ノート、定期考査）	行動の観察・記述の確認（ワークシート、授業中の発言、定期考査）	行動の観察・記述の確認（小テスト、ワークシート、定期考査）
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	自己とは何か(あるいはおいしい牡蠣フライの食べ方)	○	○	◎	◎	○	a:自己や人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し、考えようとしている。 b:自分の考えをまとめ人に伝えると同時に、人の意見を理解し学ぼうという姿勢が見られる。 c:教材に合わせた課題を書くことを通して、教材への興味関心を深く掘り下げ、筋道立てて自分の考えを表現している。 d:論理の道筋を的確に押さえ、登場人物の心理や筆者の考えを、正確に捉えている。 e:語彙数を増やし、文章を正しく音読する。筆者の考えについて理解や考察を深めている。	a:行動の観察・記述の確認 b:行動の観察 c:記述の確認 d:記述の確認・定期考査 e:記述の確認・小テスト・定期考査
	評論	いのちは誰のものなのか 「もどかしさ」の融合	○ ○	◎ ○	○ ○	◎ ○	○ ○		
	小説	山月記	◎	○	○	◎	◎		
	詩歌	死なない蛸	○		○	○	◎		
二学期	評論	科学者とは何か 木を伐る人／植える人	○ ○	◎ ○	○ ○	◎ ○	○ ○	a:科学や文化、人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し考えようとしている。 b:自分の考えをまとめ人に伝えると同時に、人の意見を理解し学ぼうという姿勢が見られる。 c:教材に合わせた課題を書くことを通して、教材への興味関心を深く掘り下げ、筋道立てて自分の考えを表現している。 d: 論理の道筋を的確に押さえ、登場人物の心理や筆者の考えを、正確に	a:行動の観察・記述の確認 b:行動の観察 c:記述の確認・作品の発表 d:記述の確認・定期考査 e:記述の確認・小テスト・ 定期考査
	小説	こころ	◎	○	○	◎	◎		

	詩歌	短歌・俳句	◎		◎	○	◎	捉えている。 e: 語彙数を増やし、 文章を正しく音読する。筆者の考えについて理解や考察を深めている。	
三学期	評論	「である」ことと「する」こと 「可能性」としての貨幣	◎ ○	○	◎ ○	○ ◎	◎ ○	a:時代や文化、人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し考えようとしている。 b:自分の考えをまとめ人に伝えると同時に、人の意見を理解し学ぼうという姿勢が見られる。 c:教材に合わせた課題を書くことを通して、教材への興味関心を深く掘り下げ、筋道立てて自分の考えを表現している。 d: 論理の道筋を的確に押さえ、登場人物の心理や筆者の考えを、正確に捉えている。 e: 語彙数を増やし、 文章を正しく音読する。筆者の考えについて理解や考察を深めている。	a:行動の観察・記述の確認 b:行動の観察 c:記述の確認 d:記述の確認・定期考査 e:記述の確認・小テスト・ 定期考査
	小説	バックストローク	○	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。